

政務活動報告書

令和6年9月2日

〔会派名： 清風クラブ 〕

代表者氏名	常俊 朋子	記録者氏名	坂本 直司
活動者氏名	福田博行、常俊朋子、坂本直司、小林勝		
活動日	令和6年8月23日（金）～令和6年8月23日（金）		
活動先	三重県伊賀市予野字鉢屋 4713 番地 三重中央開発株式会社 本社		
活動目的	収集・運搬から中間処理、再資源化、最終処分まで一貫したリサイクルシステムを展開する三重中央開発(株)を訪問し、今後検討されるであろう広域ごみ処理を見越して、循環型リサイクル現場の知見を得る。		
《概要》 1984 年、三重県から許可を得て操業開始。敷地面積は 70 万 m²。従業員数は 520 名。2019 年から伊賀市の可燃物 2 万トン／年を処理している。 現在、伊賀南部環境衛生組合と名張市とは約 6 千万円／年の取引がある。 廃棄物の収集→運搬→再資源化・最終処分の一貫システムを持ち、産業廃棄物と一般廃棄物を一緒に処理できる。可燃物は 24 時間で 760 トン以上の焼却能力を有し、焙焼・乾燥・炭化を含めた総熱処理能力は 1300 トン／日を超える。また焼却時に発生する熱エネルギーを利用した発電能力は約 4000kw で、その電気が事業所内に供給されている。さらに焼成後の灰を土木資材に再資源化するとともに廃プラスチック類と紙くず等から RPF（固形燃料）を製造している。廃プラスチックはペレット状まで処理され、グループ内他の施設でパレットなどに再資源化されている。 最終処分場は、トータル許容容量が 12,813,401 m³あり、あと 40 年は使用可能である。さらにその浸出水は、水処理施設で浄化され、精製の後プラント用水として場内の各施設で利用されている。 また、敷地内に別会社としてメタン発酵施設及び堆肥化施設を持ち、食品関連会社から排出される食品廃棄物等を処理している。 地域貢献も活発で、伊賀市予野の廃校跡に社員寮とコンビニを設立するとともに駅伝やマラソン、地域の清掃にも参加している。アグリビジネスでは、農事組合法人「ねぎぼーず」を立ち上げ、遊休地利用などで地域活性化に寄与しているとのこと。 視察を終えて、今後始まるであろう広域ごみ処理の検討において、公民連携による地域循環を目指すパートナーとして、経験と能力を有する候補企業であるとの認識を得た。			

